

## カリキュラムの特色

### ●入学後に専門分野を決定(レイトスペシャライゼーション)

1年次には、全学基礎教育と理工共通基礎科目を学び、2年次に専門分野を決定します。これにより、理工学の各分野を理解してから、自分が真に興味のある専門分野を選ぶことができます。

### ●専門性を高めるとともに、アントレプレナーシップと幅広い融合知を養成

専門人材教育と理工社会実装教育とを通して、高い専門性を修得すると同時に、それを活用して能動的に社会に参画しようとするアントレプレナーシップを身に付けた人材や、幅広い視野を持ち合わせて様々な課題の解決に向かって取り組むことが出来る人材を養成します。

### ●学生が自ら設計する主体的な学び

各分野で求められる標準的な人材像を目指す「標準履修モデル」を提示します。学生は、それを参考に、幅広い総合理工学の専門科目から、主体的に自分の学びを設計することが可能です。



### 入学科・授業料

◎入学科: 282,000円 ◎授業料: 535,800円

(学生等の授業料その他の費用に関する規程に基づく)

## アクセス

空路	東京(羽田)→出雲	約1時間25分
	福岡→出雲	約1時間5分
	静岡→出雲	約1時間15分
	名古屋(小牧)→出雲	約1時間
	大阪(伊丹)→出雲	約50分
※出雲空港から空港連絡バス松江線(約35分)JR松江駅下車		
JR	東京(羽田)→米子	約1時間20分
	東京→岡山→松江	約6時間10分
	福岡→岡山→松江	約4時間30分
高速バス	大阪→岡山→松江	約3時間50分
	東京(渋谷)→松江	約10時間25分
	大阪(梅田)→松江	約4時間40分
	岡山→松江	約3時間10分
	広島→松江[特急便]	約3時間20分
福岡→松江	約8時間	

JR松江駅より	
■市営バス	■一畑バス
北循環線内回り	美保関ターミナル行
島根大学前下車	島根大学前下車
約15分	約20分
島根大学・川津行	マリンプラザしまね行
島根大学前下車	島根大学前下車
約20分	約20分



島根大学総合理工学部 (松江キャンパス)

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 TEL.0852-32-6112 FAX.0852-32-6125 HP: <https://www.riko.shimane-u.ac.jp/>



専門分野の  
垣根を越えて  
オンリーワンの  
自分を磨く

新生

# 2025年4月 総合理工学部 誕生

7学科から  
総合理工学科1学科  
へと改組します

2025年4月開設予定  
(設置申請中)

先端ものづくり分野

自然環境・  
住環境分野

数理データサイエンス・  
IT・デジタル分野

改組前(7学科)

物理工学科, 物質化学科, 地球科学科,  
数理科学科, 知能情報デザイン学科,  
機械・電気電子工学科, 建築デザイン学科

総合理工学科へ



# 新生 総合理工学部 オンラインの学びのかたち

## 《大学院進学》

融合知をベースに専門知をさらに高度化させる大学院教育

先端ものづくり分野

自然環境・住環境分野

数理データサイエンス・IT・デジタル分野

- 半導体・電子デバイス人材
  - 機械電気人材
  - 物質創成人材
- など

- データサイエンティスト
  - システムエンジニア
  - AI 開発者
- など

- グリーン科学人材
  - 地質防災人材
  - 建築士
- など

社会実装教育を柱に、幅広い視野を持つ  
高度理工系人材の育成

先端ものづくり分野

130名程度

自然環境・住環境分野

120名程度

数理データサイエンス・IT・デジタル分野

120名程度

社会実装セミナーⅣ (卒業研究8単位)

異分野教員や産業人が指導に参画する  
課題探究型長期インターンシップや  
海外留学によって代替可能

4年次

## 専門人材教育科目

### 学生の目指す人材像に向けて

関連する専門分野を融合的に学べる専門教育カリキュラム

### 標準履修モデルを参考に学修者がカリキュラムを設計

履修モデルとは目指す人材像を実現するための専門科目群

主な学問領域

物理 化学 電気 機械

#### 先端ものづくり分野

《標準履修モデル》

- ①電子物理学系人材養成履修モデル
- ②半導体応用システム人材養成履修モデル
- ③機械電気系人材養成履修モデル
- ④機能創成化学系人材養成履修モデル

主な学問領域

数学 情報

#### 数理データサイエンス・IT・デジタル分野

《標準履修モデル》

- ①数理データサイエンス系人材養成履修モデル
- ②数理機械学習データサイエンティスト系人材養成履修モデル
- ③ITスペシャリスト系人材養成履修モデル

主な学問領域

建築 地球 化学 地学

#### 自然環境・住環境分野

《標準履修モデル》

- ①グリーンシステム科学系人材養成履修モデル
- ②地球資源環境・防災科学系人材養成履修モデル
- ③環境保全科学系人材養成履修モデル
- ④建築デザイン系人材養成履修モデル
- ⑤防災配慮型建築系人材養成履修モデル

【複数の分野にまたがる標準履修モデル】

- AIロボティクス系人材養成履修モデル
- 環境データサイエンティスト系人材養成履修モデル

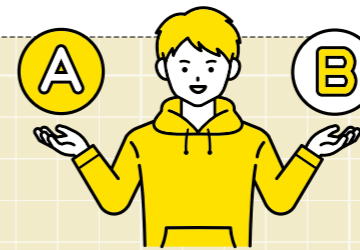
専門人材教育科目

50単位

アントレプレナーシップ教育  
または短期インターンシップ

+

知財戦略論, 経営のデータ戦略,  
デザインと数学, 理工系の経済論から選択



履修モデルの選択

2・3年次

理工社会実装教育科目

8単位

データサイエンスのための基礎数学(必4単位),  
基礎プログラミング(必2単位), 基礎理数学(選択4単位),  
理工学英語(必2単位), フレッシュマンセミナーⅠ・Ⅱ(必各2単位)

理工共通基礎科目

16単位

新たなリテラシーを身につける  
全学基礎教育(STEAM科目, ユニバーサル科目等)  
文理横断, 領域融合, 越境力の育成を図る島大クロス教育

1年次

全学基礎教育

32単位

入試: 学部一括募集

※このほか、自由科目として10単位 ※数学、情報、理科、工業の教員免許取得も可能

更なる専門的学修は大学院で

社会実装教育の体系的な展開